

平成 20 年 11 月 4 日

報道関係者 各位

株式会社アルファシステムズ
代表取締役社長 池田 直明
(証券コード 4719 東証第一部)

DTCP-IPⁱ対応デジタル・メディア・サーバⁱⁱ機能の提供を開始 ～ 地上デジタル放送コンテンツの同時配信を実現 ～

株式会社アルファシステムズ（本社：東京都渋谷区渋谷、社長：池田直明）は、ホームネットワーク内で地上デジタル放送コンテンツを著作権保護した状態でデジタルテレビなどに配信するための規格「DTCP-IP Rev1.2」に対応した「ADMS1502」（アルファ・デジタル・メディア・サーバ）を開発いたしました。ADMS1502 は、DLNAⁱⁱⁱ対応家電を開発するためのミドルウェア「alpha Media Link SDK」に含まれる、デジタル・メディア・サーバの最新バージョンです。

1. 地上デジタル放送コンテンツの同時配信を実現

既存の DTCP-IP 対応 HDD レコーダやブルーレイレコーダの殆どは、DTCP-IP で暗号化処理を行い配信できるコンテンツが 1 本に限られており、複数のデジタルテレビにコンテンツを同時配信できる DLNA のメリットが発揮されていません。デジタルテレビ市場では、個室向けの 2 台目テレビとして小型液晶テレビの販売が拡大しており、地上デジタル放送コンテンツを複数のデジタルテレビで同時に視聴できることはユーザの利便性を向上します。

このような背景に基づき、ADMS1502 とフリースケール・セミコンダクタ・インクの低コスト・低消費電力が特長の通信プロセッサ「PowerQUICC II Pro MPC8315E^{iv}」を組み合わせ、同プロセッサに搭載されている高速な演算が可能なセキュリティアクセラレータエンジンで DTCP-IP 機能に必要な暗号化処理を行い、地上デジタル放送コンテンツの複数同時配信を実現しました。

ADMS1502 は、同プロセッサと組み合わせた開発プラットフォームとして、家電機器メーカ、セットトップボックスメーカ向けに 12 月下旬に提供予定です。

2. 強力なデジタル・メディア・サーバ開発プラットフォームの提供

さらに、富士通マイクロエレクトロニクス株式会社のトランスコード LSI「MB86H52^v」を用いて、MPEG-2 HD から H.264 HD/SD へのリアルタイム・トランスコードを行い、ADMS1502 でトランスコード後のコンテンツと暗号化した地上デジタル放送コンテンツを同時に配信する開発プラットフォームを実現しました（図 1 参照）。これにより、ポータブルメディアプレーヤなど画面サイズの小さな端末には圧縮率の高い H.264 に変換して配信し、大型のデジタルテレビには地上デジタル放送コンテンツを DTCP-IP で暗号化して配信することができます。ユーザは再生端末に応じて最適なフォーマットでコンテンツを視聴することができます。こちらについても 12 月下旬に提供予定です。

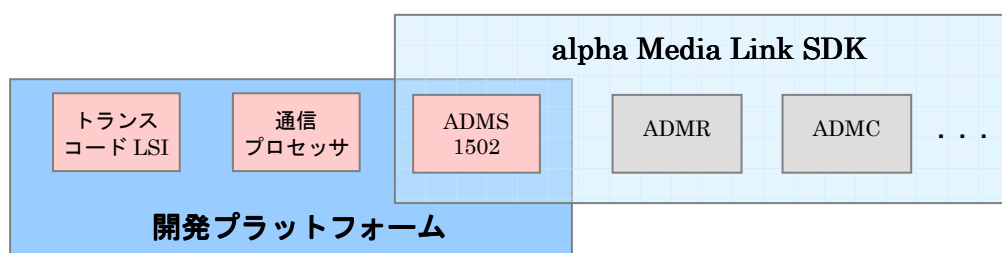


図1. 開発プラットフォームのイメージ

3. 展示会への出展

11月19日(水)から21日(金)にかけてパシフィコ横浜で開催される「Embedded Technology 2008」(小間番号：D-13)において、「リアルタイム・トランスコード機能、DTCP-IP 機能対応 DLNA デジタル・メディア・サーバ開発プラットフォーム」の導入イメージをデモンストレーションいたします。

会場では併せて、IEEE802.15.4^{wi}ネットワークと DLNA が連携する応用システムとして、離れた場所の幼児の様子や来客などをセンサネットワークで検知し、デジタルテレビへリアルタイムに表示するデモを展示いたします。

4. 本件についてのお問い合わせ先

(1) alpha Media Link SDK に関するお問い合わせ先

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 技術推進部 alpha Media Link SDK 担当
〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中 6 丁目 6 番 1 号 中原テクノセンター1 号館
Tel : 044(738)4126 FAX : 044(738)4162 E-Mail : dlna@alpha.co.jp
ホームページ <http://www.alpha.co.jp/dlna/>

(2) 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社アルファシステムズ 経営企画本部 広報室
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目17番5号 シオノギ渋谷ビル12 階
Tel : 03(3486)5111 Fax : 03(5466)7755 E-Mail : ir@alpha.co.jp

-
- ⁱ DTCP-IP (Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol) は、主に家庭内 LAN で著作権保護されたコンテンツを伝送するための規格です。
 - ⁱⁱ デジタル・メディア・サーバは、DLNA が策定したガイドラインで規定されたデバイスクラスの 1 つであり、ホームネットワーク内の再生機器に対して動画、音声、静止画ファイルを配信する機能を持ちます。
 - ⁱⁱⁱ DLNA (Digital Living Network Alliance) は、AV コンテンツを取り扱うデジタル機器間の相互接続仕様を策定する標準化団体です。本団体の策定するガイドラインに対応した製品間ではデジタルコンテンツを簡単な操作で、共有、閲覧することが可能になります。
 - ^{iv} PowerQUICC II Pro MPC8315E は、CPU 性能、豊富な機能、そして高速インタフェースを提供しつつ、低価格、省電力、そしてボード面積の縮小といった課題を克服するフリースケール・セミコンダクタ製の通信プロセッサです。
 - ^v MB86H52 は、フル HD (1,920 ドット x 1,080 ライン) の MPEG-2 映像データを H.264 映像データに変換するトランスコーダ LSI であり、入力された MPEG-2 映像データの画質を維持しながら、H.264 映像データにトランスコードすることが可能です。
 - ^{vi} IEEE802.15.4 は、家庭内などの近距離通信を想定した PAN (personal area network) 向けの規格であり、無線通信プロトコルである ZigBee の下位レイヤー (物理層と MAC 層) の仕様として採用されています。